

中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

【政治・経済】

- **中央経済政策会議で習近平総書記が重要談話を発表**：習近平中共中央総書記（国家主席、中央軍事委員会主席）は11、12両日に北京で開催された中央経済政策会議で重要談話を発表した。習総書記は重要談話で今年の経済政策を全面的に総括し、現在の経済情勢を深く分析し、来年の経済政策の方針を系統立てて示した。会議では、「来年の経済政策の取り組みを達成するには、『習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想』を指針とし、中国共産党第20回全国代表大会（第20回党大会）及び中国共産党第20期中央委員会第2回全体会議（二中全会）の精神を全面的に貫徹・実行し、『安定を維持しながら前進』という政策の総基調を堅持し、新たな発展理念を完全・正確・全面的に貫徹し、新たな発展構造の構築を加速し、質の高い発展の推進に力を入れ、改革開放を全面的に深め、科学技術の高水準の自立・自強を推進し、マクロコントロールを強化し、内需拡大と供給側構造改革の深化を統合的に計画し、新型の都市化と農村の全面的振興を統合的に計画し、質の高い発展と高水準の安全を統合的に計画し、しっかりと経済的活力を強化し、リスクを防止・解消し、社会的期待を改善し、経済の回復・好転基調を揺るぎないものにして強化し、経済の効果的な質的向上と合理的な量的成長の実現を促進し続け、国民生活の幸福を増進し、社会的安定を維持する必要がある。中国式現代化によって強国建設と民族復興の偉業を全面的に推進する必要がある」ことが強調された。（12/13 新華社・人民網）
 - **中央農村政策会議開催、習近平総書記が「三農」政策に重要指示**：中央農村政策会議が19、20両日に北京で開催された。会議は「習近平による新時代の中国の特色ある社会主義思想」を指針とし、中国共産党第20回全国代表大会（第20回党大会）及び中国共産党第20期中央委員会第2回全体会議（二中全会）の精神を全面的に貫徹し、「三農（農業・農村・農民）」政策に関する習近平総書記の重要な論述を深く貫徹・実行し、中央経済政策会議の精神を貫徹・実行するとして、現在「三農」政策の抱える状況と課題を分析し、来年度の「三農」政策の方針をまとめた。（12/21 新華社・人民網）
 - **外交部「強大な活力を示すグリーンシルクロード建設」**：外交部（外務省）の汪文斌報道官は20日の定例記者会見で、グリーンシルクロードの共同建設及び中国による「一带一路」（the Belt and Road）の共同建設を通じたグリーン発展への貢献について説明した。汪報道官は「グリーンシルクロードの建設は『一带一路』共同建設の質の高い発展の重要な一環であり、グリーン・低炭素発展という世界的潮流に沿ったものであり、共同建設国による環境保護の促進、気候変動対策、持続可能な開発のための2030アジェンダ実行のためにノウハウと道筋を提供し、強大な活力を示している」と指摘。（12/21 人民網）
- ### 【製造業関連・関連の政策等】
- **11月の自動車販売台数は前年同期比27.4%増の297万台**：中国自動車産業協会発表のデータによると、11月、自動車の生産台数と販売台数はそれぞれ前年同期比29.4%と27.4%増、前月比7%と4.1%増の309.3万台と297万台であった。11月、自動車市場は予想を上回った堅調な成長態勢を維持し、自動車生産台数は史上最高記録を更新、販売台数も300万台に近づいた。（12/11 中国自動車工業協会）

- ・ **生産・販売ともに好調、中国の商用車が今年急増傾向をキープ**：中国自動車工業協会によると、今年に入り、中国の商用車が生産・販売ともに好調で、前年同期と比べて2桁の成長を達成した。データを見ると、今年11月の商用車の生産台数は前年同期比64.9%増の38.8万台、販売台数は同44.6%増の36.6万台だった。商用車の主な車種は前年同期と比べると、バスとトラックが生産・販売ともに2桁成長を達成した。1-11月のデータでは、商用車の生産は同25.4%増の367.1万台、販売は同21.8%増の366.6万台で、いずれも2桁成長を達成した。(12/21 中国自動車工業協会・人民網)
- ・ **中国11月末の5Gモバイルユーザー数が7.71億人に**：工業・情報化部(省)が20日に発表した2023年1-11月の通信業界の経済運営状況によると、11月末現在、基礎的電気通信業務を提供する事業者3社のモバイルユーザー数は17.26億人に達した。そのうち5Gモバイルユーザー数は7.71億人だった。1-11月にはモバイルネットワークの通信量が累計2,728億GBとなり、11月のユーザー1人あたり月平均モバイルデータ通信量(DOU)は17.99GBに達し、今年の最多を更新した。(12/21 人民網)
- ・ **中国11月末現在の5G基地局数が328.2万ヶ所に**：工業・情報化部(省)が20日に発表したデータによると、中国では5Gネットワーク建設が加速的に進められている。今年11月末現在の5G基地局数は328.2万ヶ所に達し、携帯電話基地局全体の28.5%を占めた。同部によると、1-11月には中国の通信業界は安定的な運営を維持した。電気通信事業の売上高は安定的に成長し、業務量も急速に増加した。5G、ギガビット級光ファイバー、モノのインターネット(IoT)など新型のインフラ建設が加速し、ネットワークに接続するエンドユーザーの規模が拡大を続けた。クラウドコンピューティングなどの新興業務の牽引役としての役割が増強を続けて、産業の質の高い発展を後押しした。データによれば、1-11月には電気通信事業の売上高が累計で1兆5,548億元(1元は約20.1円)に達し、前年同期比で6.9%増加し、前年の不変価格で計算すると、同16.6%増となった。また、今年1-11月の業務量と売上高の成長率はいずれも1-10月から横ばいだった。(12/21 人民網)

【トピックス】

- 1、**甘肅積石山 M6.2 地震、空軍輸送機「運-20」を災害救助に派遣**：甘肅省臨夏回族自治州積石山保安(バオアン)族東郷(ドンシャン)族撒拉(サラール)族自治州で北京時間12月18日午後11時59分、マグニチュード(M)6.2の地震が発生し、死傷者が出た他、水道・電力・交通・通信などインフラの一部に被害が出た。19日午前、西部戦区空軍は災害救助任務遂行のため、大型輸送機「運-20」1機を甘肅省に派遣した。同日午前11時、「運-20」は蘭州中川空港に到着。同機には指揮チームの人員、車両、物資計14トンが搭載されており、速やかに災害救助の最前線へと向かった。(12/20 人民網)
- 2、**最新データ：中国のユニコーン企業の数が世界の約3割占める**：中国のベンチャー投資プラットフォーム「2023創業邦(CYZone)」は14日、上海において「未来のユニコーントップ100カンファレンス」と年次総会を開いた。カンファレンスで発表された最新データによると、今月の時点で、中国のユニコーン企業(非上場で時価総額10億ドル以上の企業)は、世界の約3割を占める562社となっている。現時点で、世界のユニコーン企業は1,866社で、緩やかに増加している。中国市場と世界市場を比べると、ユニコーン企業の増加に関する動向の面で、部分的に似たような特徴が見られる。今月の時点で、ユニコーン企業が最も多い中国の省・市は、北京市(149社)、上海市(113社)、広東省(86社)、江蘇省(60社)、浙江省(48社)だった。(12/15 人民網)
- 3、**中国2023年の生成系AI市場規模、10兆元突破の見込み**：工業・情報化部(省)の賽迪研究院(中国電子情報産業発展研究院)が14日、2023年には中国の生成系人工知能(AI)の市場規模が

10兆元（1元は約19.8円）を突破する見込みだ。そして生成系AIは製造、小売、電気通信、医療・ヘルスケアの4大業界へ加速的に浸透しつつあると明らかにした。データを見ると、今年是中国の企業における生成系AI採用率が15%に達し、市場規模は約14兆4,000億元になった。製造、小売、電気通信、医療・ヘルスケアの4大業界では生成系AI技術の採用率がいずれも急速に上昇した。専門家は、「2035年には世界で生成系AIの経済効果が90兆元に迫り、そのうち中国が30兆元を突破して4割以上を占めるだろう」と予測する。（12/14 人民網）

4、「造船大国」から「世界造船強国」へと成長する中国：中国初の国産大型クルーズ船「愛達・魔都（ADORA MAGIC CITY）」の全ての設備の取り付けが終了し、12月10日に正式に運航会社へ引き渡された。そして2024年1月1日から、正式な商業運営が始まることになっている。これで中国は、設計と建造の難度が極めて高く、世界の造船業界では「3粒の真珠」と呼ばれている大型LNG（液化天然ガス）運搬船、航空母艦、大型クルーズ船の全てを建造する能力を備えたことになった。中国船舶工業業界協会の統計によると、今年1-10月期、中国の造船建造量と新造船受注量、新造船手持工事量の世界シェアは、それぞれ49.7%と67%、54.4%で、造船の分野の3大指標全てで世界トップとなっている。中国の造船生産量も世界の上位に立っており、世界シェアの40%以上を占め、業界の売上高は合わせて5,000億元（1元は約20.3円）となっているほか、建造される船のタイプも、市場の全てのタイプをカバーするようになっており、中国は今「造船大国」から、「世界造船強国」へと成長している。（12/13 人民網）

【カーボンニュートラル】

【新エネ】2023年新疆新エネ発電設備容量2,000万kW突破

国家電力系統の最新データによると、2023年、新疆ウイグル自治区の新エネルギー発電設備容量は2,000万kWを突破した2,011.8万kWへと規模拡大を遂げ、2022年通年合計の5倍増となった。新エネルギー発電設備の規模は西北地域電力システムの約42%を占め、全国1位に躍り出ている。2025年までに、新疆ウイグル自治区の新エネルギー発電システム連系容量が同地域発電総設備の50%を超える1.16億kWとなる見込みで、風力発電・太陽光発電プロジェクトは同地域における新設発電設備の主力になると予想される。（12/10 CCTV ニュース）

【風力発電】国家大型風力発電拠点310万kW風力発電プロジェクト、内蒙古で稼働開始

第14次五カ年計画（2021-25年）期間の国家第1弾大型風力発電拠点プロジェクトである国家電投310万kW風力発電プロジェクトが18日、内蒙古（内モンゴル）自治区で稼働開始した。2年がかりで完成した同プロジェクトは、計6基の220kVブースターステーション、1,166kmの集電線を建設し、デジタル化、スマート化、リモート化の集中制御・運営を実現した。同プロジェクトは稼働後に毎年89億3,400万kWhのクリーン電力を提供でき、標準石炭消費282万1,200トン、二酸化炭素排出753万9,100トンを削減し、内蒙古のエネルギートランスフォーメーションの推進に役立つ。（12/20 人民網）

【水素】西南地域最大の車用水素供給ステーションが稼働開始

中国石油化工集团有限公司の西南地域初の水素供給センターが20日、重慶市長寿区で完成し稼働開始した。同プロジェクトは中国初の天然ガス由来水素によって精製された水素燃料電池水素供給・充填一体化プロジェクトであり、西南地域で現在水素供給能力が最大のプロジェクトでもある。同プロジェクトの水素供給能力は1時間当たり3,000標準立方メートルで、フル稼働時には毎日一般向けに純度99.999%の高純度水素を6,400kg供給し、260台水素燃料物流大型トラックの水素需要を満たせる。毎年2.7万トンにのぼる二酸化炭素排出量の削減につながる見込みだ。（12/21 科技日報、人民網）

【イベント】

【出展募集中】 FBC 広州 2024in GIT 工業展 2024 年 3 月 4-6 日 広州中国輸出入商品交易会展示館

【出展募集中】 FBC 深セン 2024in ITES 工業展 2024 年 3 月 28 日-31 日 深セン国際会展中心

【出展募集中】 FBC 上海 2024in NEPCON 電子工業展 2024 年 4 月 24-26 日 上海世博展覽館

* (公財) 大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。特別価格で出展可能です。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技有限公司）

上海市長寧区延安西路 2201 号 上海国際貿易中心 2 階 268 室